

Information

※新型コロナウイルス感染症の影響のため、休館日や会期については変更の可能性があります。ホームページで最新情報をご確認ください。

違うけれど似ている、海をめぐる日韓の文化

国際企画展示「昆布とミヨクー潮香るくらしの日韓比較文化誌」

会期：国立歴史民俗博物館公式ホームページでご確認ください。

会場：国立歴史民俗博物館 企画展示室 A・B（千葉県佐倉市城内町 117）

観覧料：一般 1,000 円（800 円）、大学生 500 円（400 円）、高校生以下無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※障がい者手帳持参の方および同伴者は無料

※総合展示も併せて観覧可

※半券の提示で、当日に限りくらしの植物苑にも入場可

開館時間：9:30～17:00（入場は 16:30 まで）

休館日：毎週月曜日 ※3月31日まで休館予定

※休日にあたる場合は開館し翌日休館

日本でも韓国でもなじみ深い海藻の昆布とわかめ（ミヨク）。古くから日常的に食されてきた一方、儀礼食や贈答品としても用いられ、日本では昆布が、韓国ではわかめが重要な役割を果たしてきた。本展覧会では、似て非なる日本と韓国の関係を昆布とわかめに象徴させ、両者の海をめぐる生活文化の歴史と変遷をたどり、その類似と相違に迫る。互いに影響し合い、相手の文化を受け入れてきた先人たちの営みから、日韓の関係を新たな視点で眺めてみては。

国際企画展示「昆布とミヨクー潮香るくらしの日韓比較文化誌」の詳細は

国立歴史民俗博物館ホームページ

<https://www.rekihaku.ac.jp>



大漁旗 20世紀 個人蔵



大漁旗 1970年代 韓国国立海洋博物館蔵

奴隷の自由をかけた闘いにすべてを捧げた女性

『ハリエット』

上映期間：2020年3月27日より TOHO シネマズシャンテほか全国公開

監督：ケイシー・レモンズ

出演：シンシア・エリヴォ、レスリー・オドム・Jr ほか

配給：パルコ



©Universal Pictures

アフリカ系アメリカ人として初めて米ドル新紙幣に肖像が採用された奴隷解放運動家にして、人種間の分断が進む現代のアメリカにおいても多くの支持を得続ける英雄、ハリエット・タブマンの激動の生涯を映画化。1849年、農園の奴隷として過酷な生活の中で生まれ育った“ミンティ”ことアラミンタ。いつか家族と自由の身となることを願っていたある日、ひとり売られてゆくことになったミンティは脱走を決意。自由を得た彼女はハリエットと名を改め、家族と仲間を救うために立ち上がる。

『ハリエット』上映に関する詳細は URL：<https://harriet-movie.jp/>